

# 令和元年度仙台市防災会議

## 議事録

### I 開催日時

令和2年3月26日(木) 14時00分から15時30分まで

### II 開催場所

TKP ガーデンシティ仙台勾当台 ホール1

### III 出席者等

会長1名・委員(代理含む)34名 計35名

役職	職名	氏名	備考
会長	仙台市長	郡 和子	
委員	仙台市副市長	高橋 新悦	
〃	東北財務局 局長	原田 健史	代理 和賀 久好
〃	東北地方整備局仙台河川国道事務所 所長	奥田 秀樹	代理 西川 文隆
〃	東北経済産業局 局長	相樂 希美	代理 北村 敦司
〃	東北運輸局 局長	吉田耕一郎	代理 澤村 和則
〃	仙台管区気象台気象防災部 部長	鎌田 浩嗣	
〃	宮城海上保安部 部長	木下 敏和	代理 平田 優一
〃	東北農政局 局長	川合 靖洋	代理 内川 靖
〃	仙台森林管理署 署長	米田 雅人	代理 大沼 光広
〃	陸上自衛隊第22即応機動連隊 連隊長	石井 伸幸	代理 佐々木 秀幸
〃	宮城県危機管理監	東海林清広	
〃	宮城県警察 仙台市警察部長	内海 裕之	代理 北浦 智之
〃	東日本旅客鉄道(株)仙台支社 執行役員仙台支社長	坂井 究	欠席
〃	東日本電信電話(株)宮城事業部 取締役宮城事業部長	中村 浩	代理 伊藤 浩治
〃	東北電力(株)仙台電力センター 所長	日野 邦光	
〃	日本通運(株)仙台支店 執行役員仙台支店長	赤間 立也	代理 小瀬川 勝博
〃	日本赤十字社宮城県支部 事務局長	渡辺 達美	
〃	日本放送協会 仙台拠点放送局 局長	等々力 健	
〃	東日本高速道路(株)東北支社仙台東管理事務所 所長	成澤 徹	
〃	東北放送(株) 報道制作局長	今井 敦	
〃	(株)仙台放送 報道局長	高荒 治朗	
〃	(株)宮城テレビ放送 常務取締役報道制作局担当	佐藤みえ子	欠席
〃	(株)東日本放送 取締役	斎藤 博明	

〃	(株)エフエム仙台 取締役編成局長	松崎 靖子	
〃	(一社) 仙台市医師会 会長	永井 幸夫	欠席
〃	宮城中央森林組合 代表理事組合長	赤間 長男	
〃	仙台市連合町内会長会 会長	傳野 貞雄	
〃	仙台市民生委員児童委員協議会 副会長	今野 正志	
〃	仙台市婦人防火クラブ連絡協議会 会長	山田はるみ	欠席
〃	仙台商工会議所 女性会 副会長	荒井美佐子	
〃	(社福) 仙台市社会福祉協議会 会長	山浦 正井	欠席
〃	(社福) 仙台市障害者福祉協会 会長	阿部 一彦	
〃	(公財) 仙台観光国際協会 理事長	村山 光彦	欠席
〃	(公財) せんだい男女共同参画財団 理事長	木須八重子	
〃	(特非) イコールネット仙台 代表理事	宗片恵美子	代理 油井 由美子
〃	エフエム仙台 防災・減災プロデューサー	板橋 恵子	
〃	宮城県消防協会 仙台地区支部長	針生 正一	
〃	仙台市消防局長	小野 司	
〃	〃 教育長	佐々木 洋	
〃	〃 危機管理監	佐々木淳一	

#### IV 傍聴者

なし

#### V 議事次第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

仙台市地域防災計画の修正について

4. 報告事項

「避難勧告等に関するガイドライン（内閣府）」の改定に伴う計画の修正について  
防災に関する市民意識アンケート調査について

その他

5. 閉 会

#### VI 配付資料

- ・資料 1-1 令和元年度 主な災害対応状況
- ・資料 1-2 仙台市地域防災計画の修正について
- ・資料 1-3 仙台市地域防災計画 新旧対照表 共通編
- ・資料 1-4 " 地震・津波災害対策編
- ・資料 1-5 " 風水害等災害対策編
- ・資料 1-6 仙台市地域防災計画パブリックコメント実施結果
- ・資料 2 災害発生情報の発令と警戒レベルの導入
- ・資料（別冊） 防災に関する市民意識アンケート調査報告書（概要版）
- ・資料（別冊） 防災に関する市民意識アンケート調査報告書

## Ⅶ 会議経過

### 1. 開 会

### 2. あいさつ（仙台市防災会議会長 郡市長）

### 3. 議長の選出

防災会議会長の郡市長が公務のため途中退席となり、仙台市防災会議条例第3条の規定により高橋副市長が議長に選出された。

### 4. 議事録署名委員の選出

議事録署名委員として、仙台商工会議所 女性会 副会長 荒井美佐子委員及び社会福祉法人 仙台市障害者福祉協会 会長 阿部一彦委員を指名した。

### 5. 議 事

#### (1) 仙台市地域防災計画の修正について

- ・資料に基づき、事務局（仙台市危機管理室防災計画課長）から説明

（発言要旨）

【議長 高橋副市長】

ただいまの説明について、意見等があれば発言をお願いしたい。

【委員一同】

（意見等無し）

【議長 高橋副市長】

原案のとおりとしてよろしいか伺う。

【委員一同】

異議なし。

【議長 高橋副市長】

原案のとおり承認とする。

### 6. 報告事項

#### (1) 「避難勧告等に関するガイドライン（内閣府）」の改定に伴う計画の修正、及び防災に関する市民意識アンケート調査について

- ・資料2及び資料（別冊）に基づき、事務局（仙台市危機管理室防災計画課長）から説明

【議長 高橋副市長】

ただいまの報告について、質問等があれば発言をお願いしたい。

【エフエム仙台防災・減災プロデューサー 板橋委員】

資料 1-1 で説明された 10 月 11 日から 13 日の台風での避難勧告発令の対象者数に対して、避難者数が多くないと感じている。一方、防災に関する市民意識調査の中で避難を開始すべき警戒レベルについては、5 割を超える方が警戒レベル 4 と回答している。避難勧告等が市民の避難行動に必ずしも結び付いていない点についてどのように考えているか伺う。

【事務局（危機管理室防災計画課長）】

避難所に避難をした方の数は 6,500 名程度と説明したが、避難の中には避難所への避難だけでなく上階への避難や知人宅への避難ということも含まれている。

しかし、ご指摘のとおり避難所への避難について、その時々適切な避難行動と伝達方法も含めて市民の皆様への周知啓発を引き続き行っていく。

【エフエム仙台防災・減災プロデューサー 板橋委員】

可能であれば、避難勧告等の対象であった市民がどのような避難行動をとったのか、なぜ避難行動をとらなかったのか、アンケートをとればその後の対応にも活かせるためお願いしたい。

【事務局（危機管理室防災計画課長）】

現時点で調査手法については即答はできないが、何らかの形で確認することを検討する。

【議長 高橋副市長】

その他にご意見等あれば伺いたい。

【公益財団法人 せんだい男女共同参画財団 理事長 木須委員】

防災に関する市民意識アンケート調査報告書を初めて拝見したが、女性の回答率が高い。無作為抽出で行っているはずなので、回答率の高さを見ると女性の関心が非常に高い。

以前より災害時に抱える課題には男性と女性の間には違いがあると言われていたが、各設問について男女でのクロス集計をしていたのか伺いたい。また、当方でも調査研究部門があり、そのデータを分析のため提供してもらえるか伺いたい。

【事務局（危機管理室防災計画課長）】

本調査結果について基礎データをクロス集計ができる状態にはしているが、現段階でご提供できるかどうかについては即答できない。ご了承いただきたい。

【議長 高橋副市長】

その他にご意見等あれば伺いたい。

【委員一同】

(意見等無し)

【議長 高橋副市長】

予定している報告事項は以上であるが、板橋委員から机上の資料（Date FM サバメシ防災ハンドブック 2020）について説明願う。

【エフエム仙台防災・減災プロデューサー 板橋委員】

前回に引き続き、仙台市の上承をいただき皆様へ Date FM サバメシ防災ハンドブック 2020 を配布させていただいた。今年度版も様々な防災減災情報を網羅し、郡市長にも挨拶文を寄稿いただいている。

今回は明成高校調理科の皆様にご宮城の伝統野菜を使ったサバメシを考案していただき掲載している。そのほか、昨年 11 月に行われた仙台防災未来フォーラムのイベントレポート、仙台市防災減災アドバイザーの及川様よりいただいた令和元年度台風第 19 号（東日本台風）を踏まえた豪雨災害への備えについてのアドバイスを掲載している。

今回も昨年同様、新年度に県内の小学 5 年生全員に配布し、防災学習の一環に役立てていただこうと考えている。もし、皆様の中で冊子を複数ご利用の方がいらっしゃれば、エフエム仙台までご一報いただきたい。

【議長 高橋副市長】

そのほか意見等あれば伺いたい。

【エフエム仙台防災・減災プロデューサー 板橋委員】

仙台市の新型コロナウイルスへの現在の対応と今後の対応について伺いたい。

【事務局（危機管理室長）】

現在、仙台市内で患者が 1 名のみ確認されているが、世界各国や日本国内で感染拡大が起こっており、仙台市でも油断のならない、注意をしなければいけない状況であるという認識を持っている。

現段階では手洗い、うがい、咳エチケットなどの感染拡大予防、自衛のための行動を市民の皆様にご適切にとっていただくことが何よりも肝要と考える。

今後、患者が新たに確認された場合も、健康福祉局や病院を中心に適切な医療上の処置をするための体制をとっている。

一刻も早い終息を願いながら、状況を注視している状況である。

【議長 高橋副市長】

(東京都でのコロナウイルス感染拡大の話題に触れて) 仙台市としても市民の皆様の協力を得ながら、対策を講じている状況である。対策等の市民周知にはマスコミ各社の報道が重要であると考えている。マスコミ各社には今後ともコロナウイルスに関する周知をお願いしたい。

他に意見等がないようなので、報告事項を以上とする。

7. 閉 会

以上、事実に相違ないと認める。

令和 2 年 4 月 20 日

仙台市防災会議委員

荒井美佐子 (印)

令和 2 年 4 月 28 日

仙台市防災会議委員

阿部一彦 (印)